沼津駅北拠点施設の整備に向けた取り組みは

問　沼津駅北拠点施設の整備計画を策定していく上で、これまでに寄せられた市民の意見を取り入れる考えは。

答　本市が県東部地域の中心的役割を担っていくために必要な都市機能を沼津駅北地区に導入するに当たり、平成十四年度から企業ヒアリングや市民ニーズ調査等を行い、これらの調査結果をもとに平成十五年度に駅北拠点開発事業基本構想を策定した。さらに、平成十八年三月に市内全世帯を対象としたJR沼津駅周辺のまちづくりに関する市民アンケートやホームページ上でニーズ調査を実施し、これらを踏まえて、県・市共同で設置した沼津駅北拠点施設整備構想研究会において、当地区に導入・整備すべき施設についての提言がまとめられた。現在、県及び市では、この提言の実現に向け、具体的な検討に入っているが、これまでに実施した市民アンケートの結果などを踏まえて、展示イベント施設や市民交流施設等の整備計画案を作成し、施設整備に着手していきたいと考えている。

▲拠点施設の整備計画が進められている沼津駅北地区

スマートインターチェンジを設置する考えは

問　スマートインターチェンジは、高速道路のサービスエリアやパーキングエリアなどから乗りおりができるETC専用のインターチェンジで、地域経済の活性化や交通渋滞の解消などの効果が期待されているが、このスマートインターチェンジを愛鷹パーキングエリアへ設置する考えは。

答　スマートインターチェンジは、国土交通省、高速道路株式会社、警察などの関係機関で組織する地区協議会で検討・調整を行い、社会実験を経て導入されるが、利用見込みが相当数あること、アクセス道路の整備を地元自治体が行うことなどが必要となる。愛鷹パーキングエリアへのスマートインターチェンジの設置については、これまでも周辺事業所等の要請を受け、国土交通省や県に打診したが、東名沼津インターチェンジに近いことなどから、調査実施には至らなかった。しかし、平成十九年九月に国土交通省から高速道路の有効利用のためスマートインターチェンジを増設する方針が出されたため、地元自治会や周辺事業所などと連携を図り、設置に向けた調査・検討を進めていく。

藤井原保育所の民営化計画の内容は

問　沼津市行政改革プランに基づき計画されている藤井原保育所の民営化について、①民営化計画策定の経緯及び経過は。②民営化による実質的な経費節減額として五千万円が見込まれているが、その内容は。

答　①藤井原保育所は、耐震化が必要であることや敷地が狭く園庭が確保されていないため隣地の公園を利用している等の状況から、移転した上で民営化とすることを平成十八年三月に公表した沼津市行政改革プランに盛り込んだ。これまでに保護者や地元自治会、保育士へ民営化計画の説明会を実施した。現在、学識経験者等の意見を伺う中で、民営化に向けた指針づくりを進めている。②民営化により、借地料及び運営経費、臨時職員の賃金相当分等が節減されると考えている。

▲民営化計画が策定され、移転を予定している藤井原保育所